

上田市文化財調査報告書 58集

大 畑 遺 跡

遊技場建設に係る大畠遺跡発掘調査報告書

1996. 3

コンボ通商(株)

上田市教育委員会

上田市文化財調査報告書 58集

大 煙 遺 跡

遊技場建設に係る大煙遺跡発掘調査報告書

1996. 3

コンボ通商(株)

上田市教育委員会

序

千曲川と神川によって形成された大段丘面は、通称「染屋面」と呼ばれています。近年、この段丘面では、上信越自動車道建設工事を筆頭に大小様々な規模の開発事業が実施されております。

今回、現県営球場至近地の「大烟遺跡」について、遊技場建設に先立ち、発掘調査を行いました。この調査の成果については、本文中で詳述しますが、これまで当地域で調査事例の少なかった中世に関する遺構・遺物が出土しました。この成果は、当地域の中世を解明するうえで貴重な資料となることでしょう。

この調査を円滑にすすめるにあたって、準備段階から御理解と多大なる御協力をいただいた(株)コンボ通商ならびに㈲勇建築設計事務所の皆様、また、酷暑のなか、苛酷な作業に従事していただいた皆様には、衷心より感謝を申し上げる次第であります。

今回の調査のようなケースは、これから増加の一途をたどると思われますが、埋蔵文化財の保護をすすめるうえで大きな指針を示すことができました。今後も関係各位の御理解と御協力をえながら、埋蔵文化財の保護が円滑かつ効果的にすすめられることを願い、序といたします。

平成8年3月

上田市教育委員会教育長

内藤 尚

例　　言

- 1 本書は、長野県上田市大字古里字大畠における、遊技場建設に伴う大畠遺跡発掘調査報告書である。
- 2 調査は、㈱コンボ通商から委託を受け上田市が直営で行い、調査に要した費用の一切は、㈱コンボ通商が負担した。なお、事務局は、上田市教育委員会事務局社会教育課が担当した。
- 3 現地調査は、1995年6月5日から8月8日まで実施し、引き続き1996年3月31日まで整理・報告書作成作業を行った。
- 4 遺構の実測は清水彰が行い、トレースは市村みつ子・大井敬子・小野沢恵美子が行った。
- 5 遺物の洗浄・注記・接合・版組は、清水の指示により、市村・大井・小野沢が行った。
- 6 遺構・遺物写真的撮影は、清水が行った。
- 7 本調査に係る資料は、上田市立信濃国分寺資料館に保管してある。
- 8 本書の編集・刊行は、事務局が行った。
- 9 本調査にあたり、㈱コンボ通商・㈲勇建築設計事務所の皆様には、御指導・御協力をいただいた。
- 10 本調査の体制は次のとおりである。

教　育　長	内藤　尚
教　育　次　長	荒井　鉄雄
社会教育課長	松沢征太郎
文化係　長	岡田　洋一
文化係　員	中沢徳士・尾見智志・塩崎幸夫・久保田敬子・清水彰（担当者）
- 11 調査に参加・協力していただいた方々（順不同・敬称略）
(現地調査) 竹内和好・礒部応二・竹内勇・井部定雄・小柳治雄・林正治・池田市郎
・甲田五夫

(整理作業) 市村みつ子・大井敬子・小野沢恵美子

凡　　例

遺構

- 1 遺構は、() 内に示す略号で表し、続く番号は任意である。
竪穴住居址 (SB-)・掘立柱建物址 (ST-)・溝址 (SD-)・土壙 (SK-)・
ピット (P-)
- 2 遺構の図版は、国家座標による真北を頁の上とした。
- 3 遺構実測図は、原図 1:20、縮尺 1:3とした。
- 4 竪穴住居址の主軸方位は、国家座標の真北と住居址の中軸線とのなす角度で示した。
- 5 遺構写真の縮小は任意である。

遺物

- 1 遺物写真の縮尺は任意である。

目　　次

序	
例言	
凡例	
目次	
第一章 序 説 1
第1節 調査の経過	
第2節 調査の方法	
第3節 調査日誌	
第4節 報告書抄録	
第二章 環 境 3
第1節 自然的環境	
第2節 歴史的環境	
第3節 遺跡の基本層序	
第三章 調査の結果 8
写真図版 15

第一章 序 説

第1節 調査の経過

平成7年4月、㈱コンボ通商から、上田市長に上田市大字古里字大畑に遊技場を建設したいとの開発事業の届出がされた。上田市教育委員会事務局社会教育課（以下「事務局」という。）で、遺跡分布図・埋蔵文化財分布調査報告書を確認すると、本事業地は「染屋台条里水田跡遺跡」の範囲内に該当するため、試掘調査を実施し、遺跡の有無を確認する必要が生じた。そのため、事務局では、平成7年4月24日の現地調査の際に、その旨を㈱コンボ通商に伝え、試掘調査の了承をえた。

平成7年5月15日、事務局で試掘調査を実施したところ、事業地内約2,000mに遺跡が広がっていることが確認された。これにより、事業地内の遺跡について、なんらかの保護措置を講ずる必要が生じた。

このため、事務局と㈱コンボ通商では、数回の協議をかね、平成7年6月1日、上田市と㈱コンボ通商との間で、この遺跡を記録保存するための委託契約を締結した。これにより、事務局では、平成7年6月5日から8月8日まで現地調査を実施した。その後、整理作業を行い、平成8年3月31日までに本報告書を刊行し、すべての調査を終了した。

第2節 調査の方法

本遺跡は、周知の埋蔵文化財包蔵地である「染屋台条里水田跡遺跡」の範囲内に存在するが、この包蔵地は、範囲が広いため場所の特定が難しい。そのため、本遺跡の所在地の字名を用い「大畑遺跡」とした。これに伴い、O-O-Hataの「OOH」を本遺跡の略記号として用いた。

調査区域の設定は、事業地内の試掘調査によって判明した遺跡の範囲とした。調査にあたっては、バックホーにより表土を除去し、その後遺構検出・掘上作業を人力により行った。また、3m×3mのメッッシュを設定し、遺構の測量・遺物の取り上げ等に利用した。メッッシュの設定方法は、基準点0を設定し、そこから国家座標にのるように設定した。その際、東西南北にそれぞれ記号（EWSN）をあたえ、基準点からの距離を組み合わせて使用した。ここで使用した基準点0の座標値は、X=+44,193.000, Y=-20,109.000（第VII量系）である。

遺構測量は、このメッッシュを利用した簡易遺り方法で行った。

第3節 調査日誌（抄）

平成7年

- 6月5日 (月) バックホーによる表土剥作業開始
- 6月7日 (水) 造構検出作業開始
- 6月15日 (木) バックホーによる表土剥作業終了
- 6月16日 (金) 造構検出作業終了
- 6月19日 (月) 造構掘上げ作業開始
- 8月1日 (火) 造構測量開始
- 8月8日 (火) 機材搬出 現地調査終了

以後、埋蔵文化財整理室において整理作業を実施し、平成8年3月31日までに調査報告書の刊行を行い、すべての調査事業を終了した。

第4節 報告書抄録

ふりがな	おおはたいせき						
書名	大烟遺跡						
副書名	遊技場建設に係る大烟遺跡発掘調査報告書						
シリーズ名	上田市文化財調査報告書						
シリーズ番号	第58集						
編著者名	清水 彰						
編集機関	上田市教育委員会						
所在地	〒386 長野県上田市天神二丁目4番74号 TEL0268-23-5102						
発行年月日	1996年3月31日						
所収遺跡名	所在地	面積	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
大烟遺跡	上田市大字古里 字大烟	20203	36° 26'07"	138° 16'34"	19950605 19950808	2,000m ²	遊技場建設
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
大烟遺跡	集落	中世	堅穴住居址 掘立柱建物址 溝址	1 1 7	土師質土器・青磁 ・古錢		

第二章 環 境

第1節 自然的環境

今回、調査を実施した大畠遺跡は、染屋台地に所在する。染屋台地は、上田市域の東部にあり、北に虚空蔵山と横山丘陵があり、その麓で東西の長さ約3.5km、東は、神川に望む段丘崖が東北方からやや西南方向に約3.8km、西は染屋段丘崖が西方から東南方向に約3kmの三側線に囲まれた三角形状の地域であり、面積は約5.76haである。東辺は神川河床から25~30m、西辺は上田市街面から15~20mの高さを持っている台地である。土質は下部が段丘礫層、上部は2~3mのローム層で第四紀洪積世に形成されたものであり、地質学的には染屋層と呼ばれている。

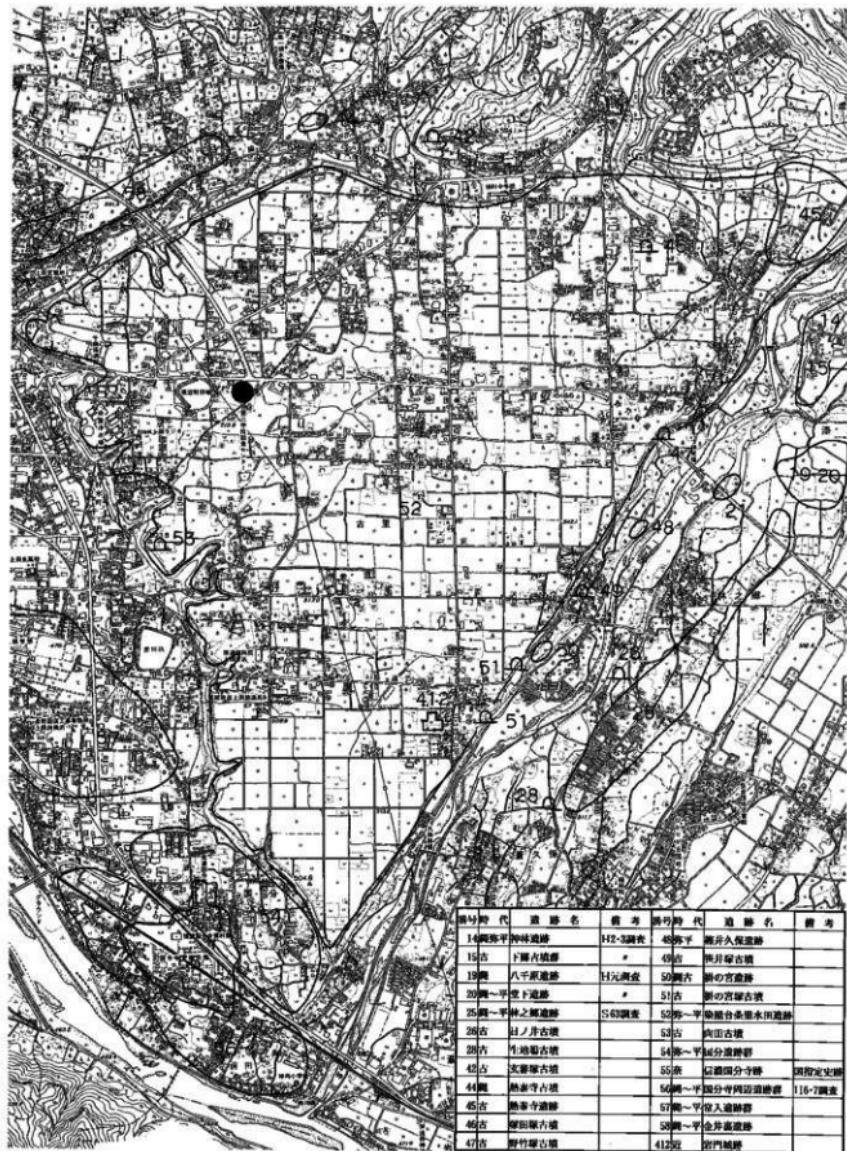
染屋台地は北辺部が標高580m、南端部は標高500m、標高差80mをはかる。これは模式的な隆起扇状地と呼ばれている。この扇状地は、神川本流或いは支流の浸食を受けていない。その反面、自然流の乏水地域である。また、この台地は地下水位が低く井戸水をえられにくく、田用水は飲料水に適していないといわれている。土質は有効磷酸、マングンに乏しく酸性の強い強粘土地帯である。

扇状地の微地形的考察では、同心円状に等高線があり、そこに凹凸のあることがわかる。その大半は平行であり、東西方向の流路となっている地点が凹地となっている。そのうち、もっとも大規模なものが新屋堀であり、扇状地上の最高地を貫き大幹線となっている。また染屋堀・岩門堀も等高線を切っている。その他にも小さな凹地がいくつかあり、それらが扇状地面上に変化を与えている。しかし、染屋台のこのような変化は人工による堀の開設後、その浸食によって生じたものと考えられている。

第2節 歴史的環境

染屋台地は、自然流がなかったことからその開発が比較的遅く、当地域からは纏文・弥生時代の遺跡および遺物の知見は比較的少なく、主として弥生時代以降のものが、台地周縁部に知られている。弥生期については発掘調査がされたことがなく表面採集調査によっている。

古墳時代には、北縁の虚空蔵山麓に新屋古墳群がある。当初は、大字上野字鴻呂館及び矢花地籍にかけて20数基あったと伝えられている。現在は鴻呂館地籍に3基残り、矢花地籍には「矢花の七つ塚」と呼ばれているもののうち3基が残存している。塚田地籍の上田市立第五中学校の敷地内にある「塚田塚古墳」は小規模ながら横穴式石室を残している。また、岩門地籍の社宮寺古墳、向田地籍の向田古墳が存在するが、墳丘のあることのほか、詳しいことはわかっていない。発掘調査例としては、昭和58年から5次にわたって行われた「創置の信濃国府跡推定地確認調査」・平成3年の柳町遺跡が挙げられるが、いずれも遺跡の密度は薄い。



第1図 大烟遺跡周辺遺跡分布図

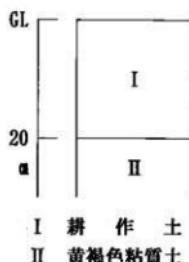
奈良・平安時代になると、土師器・須恵器等の遺物が各所で表面採集されているが、発掘調査例がないため、遺跡の範囲などは明確ではない。また、この台上に信濃国府がおかれたとの説があるが、これを裏付ける調査事例はない。

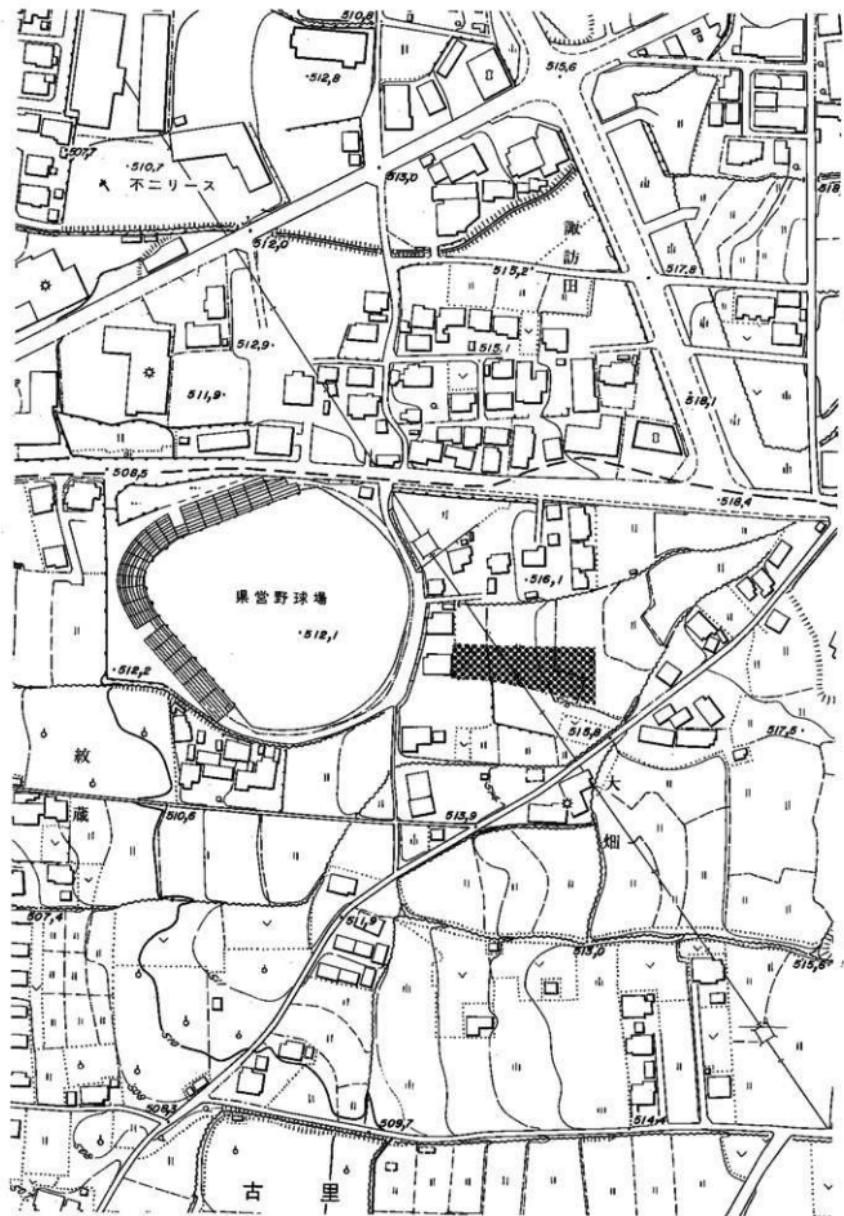
中世以降、当地域は主として水田地帯として発展していったが、近年は、住宅開発が進んできている。

なお、染屋台全域にわたって「条里造構」が展開しているが、この形成年代等については明確にされていない。

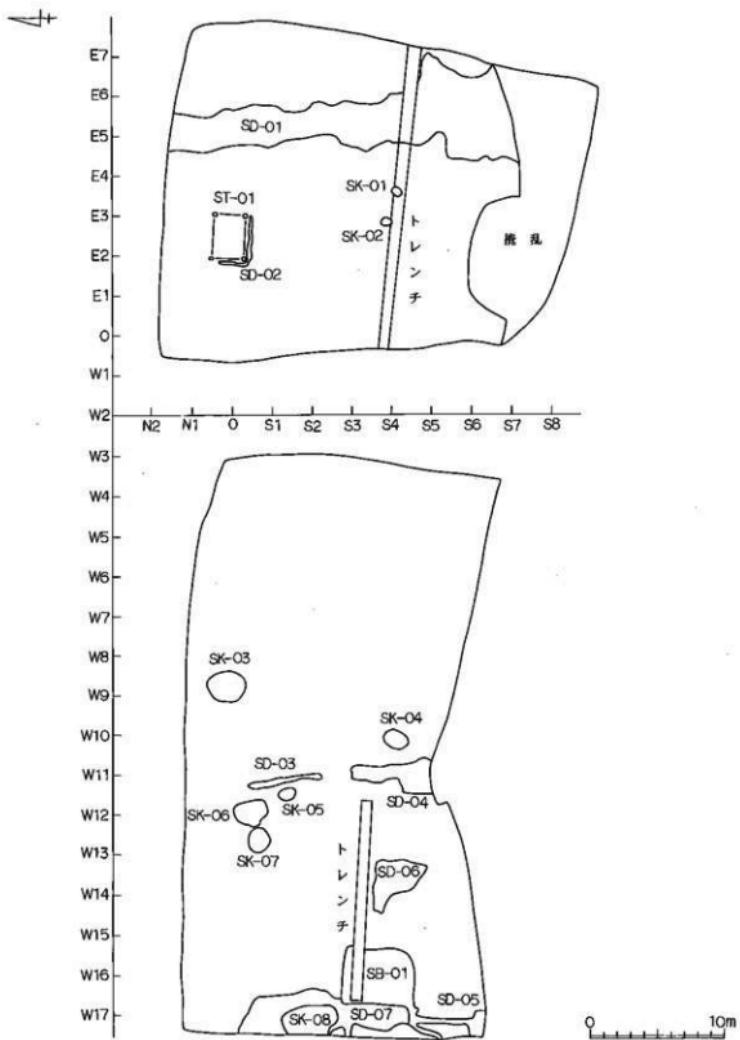
第3節 遺跡の基本層序

大畠遺跡の基本層序は、右に示すとおりである。強粘土地帯であるため、水捌けが非常に悪い。遺構検出面は、GL-20cm前後の表土直下である。これは、上田盆地が隆起していることによると考えられる。





第2図 大畑遺跡発掘調査範囲



第3図 大畠遺跡遺構配置図

第三章 調査の結果

今回の調査の結果、竪穴住居址1件・掘立柱建物址1件・溝址7条・土壙8件・ピット94件を検出した。

竪穴住居址の平面形態は、隅丸方形を呈すると思われ、規模 $5.46 \times 4.30m$ 、床面積 $21.28m^2$ を測る。中軸線はN-3.5' - Eであり、床面標高 $514.48 \sim 514.55m$ 、壁高 $0.10 \sim 0.05m$ である。竈・柱穴は検出されなかった。床面は、かたく縮まり、凹凸はほとんどない。

掘立柱建物址は、P-1（長径 $0.39 \times$ 短径 $0.35 \times$ 深さ $0.12m$ ）、P-2（ $0.34 \times 0.33 \times 0.27$ ）、P-3（ $0.30 \times 0.27 \times 0.33$ ）、P-4（ $0.24 \times 0.21 \times 0.25$ ）で構成され、規模は $3.40m \times 2.44m$ をはかる。この建物址は、周囲にSD-02が存在することから、SD-02を周溝とした竪穴住居址の柱穴のみが残存している可能性もある。

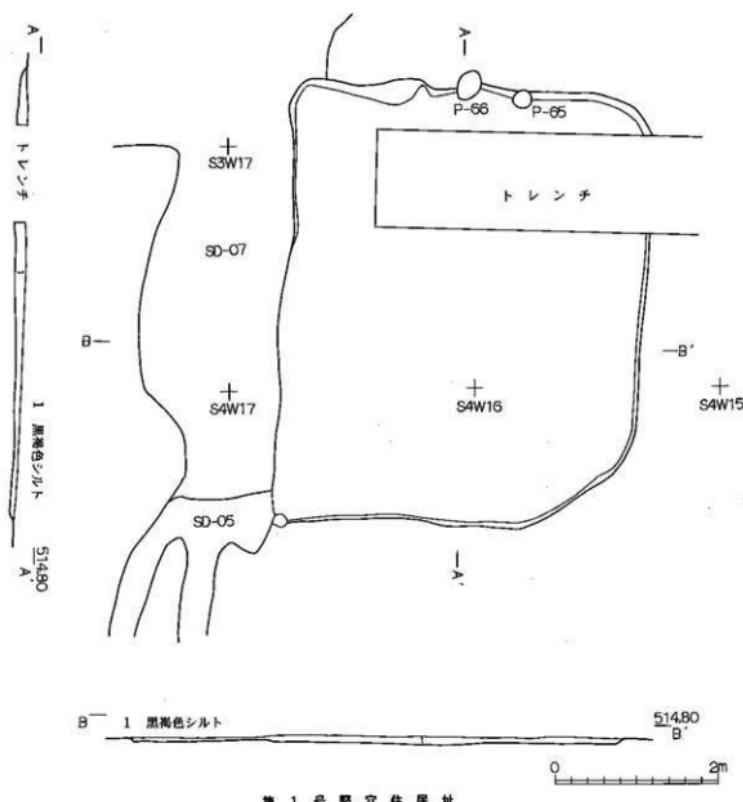
第1号溝址は、最小幅 $3.00m$ 、最深部 $0.82m$ をはかる。

なお、土壙・ピットについては、表に示すとおりである。

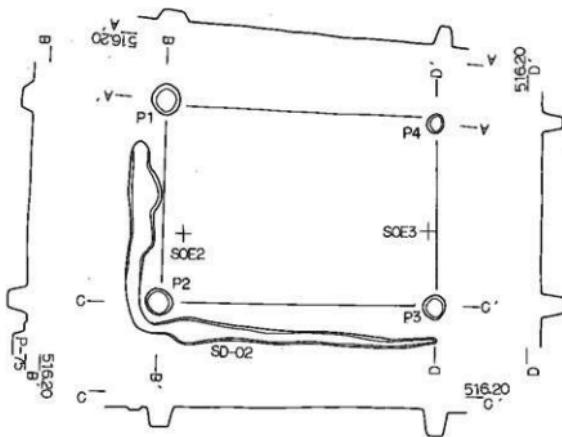
遺物は、土師質土器・須恵器等の破片が出土した。ほとんどが中世期のものと考えられる。特に、SD-06から出土した青磁蓮弁文碗の破片は、中国宋代の龍泉窯で作られたものと考えられ注目される。また、SD-07からは、嘉祐通宝（北宋 嘉祐元年：1056年）が出土している。



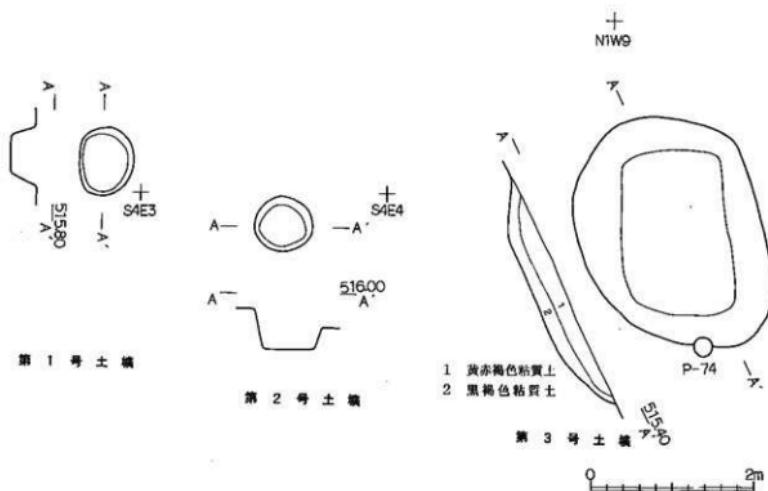
嘉祐通宝拓影図



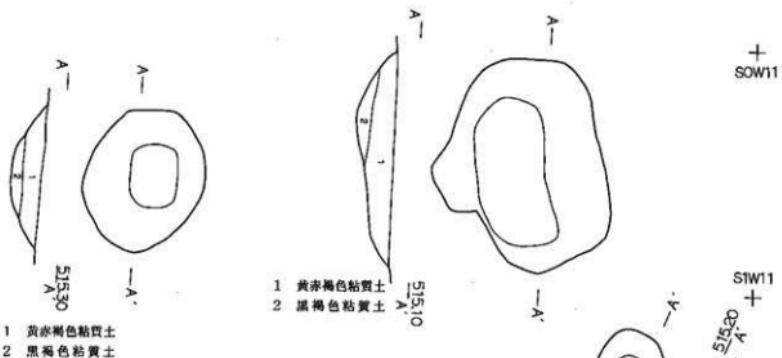
第4図 大烟遺跡堅穴住居址実測図



第1号掘立柱建物址

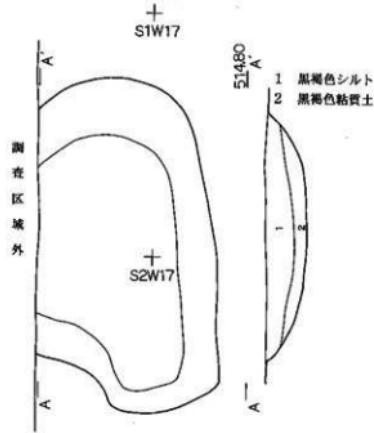
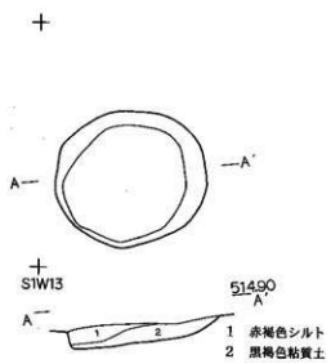
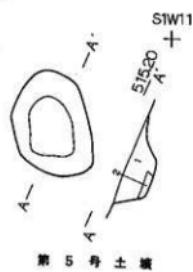


第5図 大烟遺跡堀立柱建物址・土壤址実測図



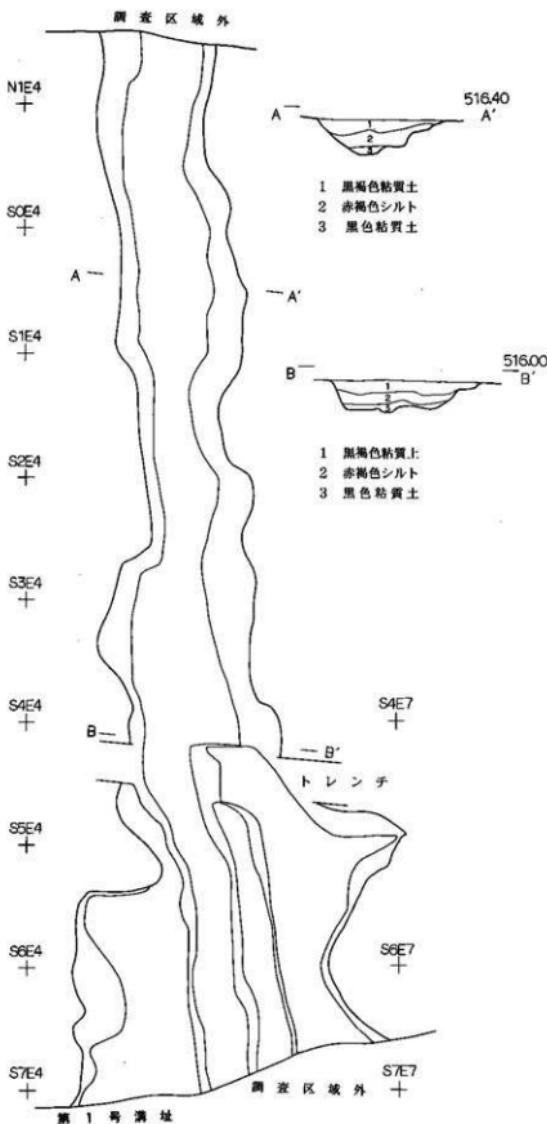
第4号土壌

第6号土壌

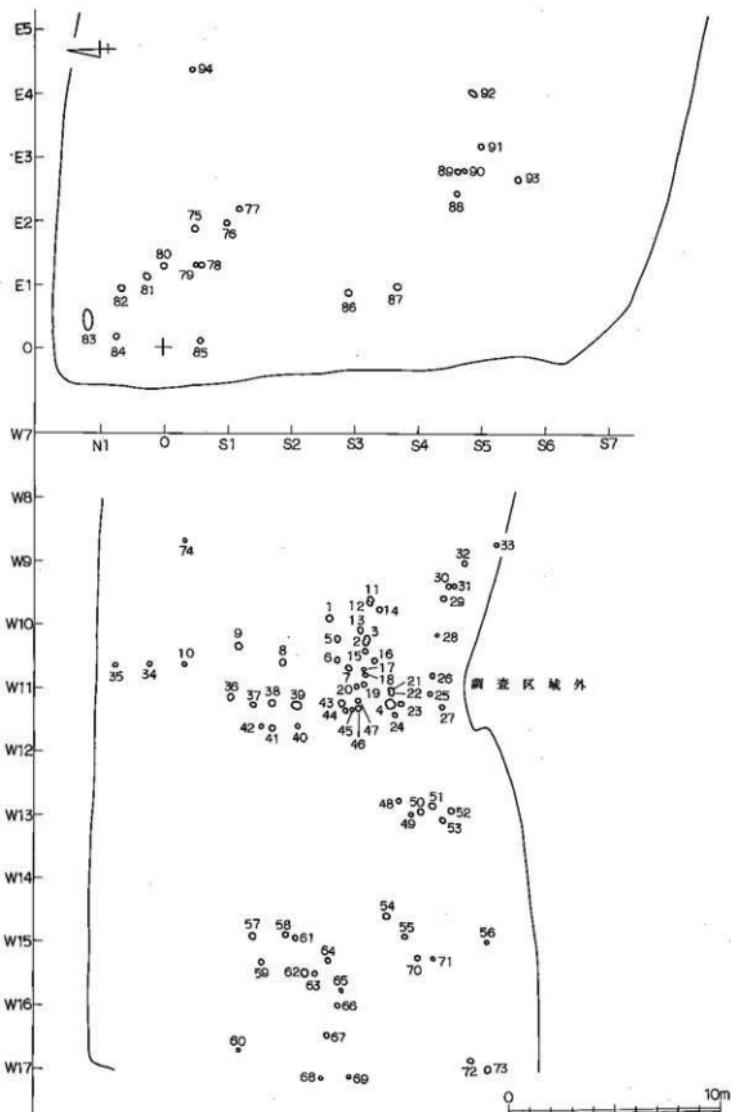


0 2m

第6図 大烟遺跡土壤址実測図



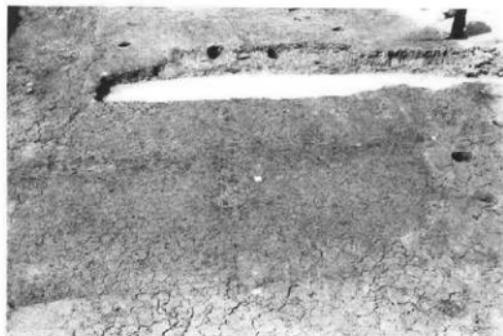
第7図 大畑遺跡溝址実測図



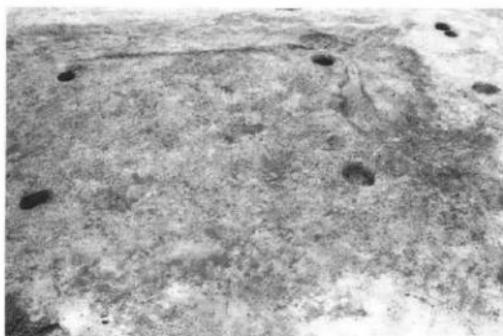
第8図 大烟遺跡ピット配置図

造構名	長 径	短 径	深 さ	備 考	造構名	長 径	短 径	深 さ	備 考
SK-01	0.70	0.68	0.58	円形	P-44	0.18	0.18	0.15	
SK-02	0.84	0.65	0.52	椭円形	P-45	0.20	0.18	0.17	
SK-03	3.00	2.22	0.33	椭円形	P-46	0.28	0.24	0.40	
SK-04	1.66	1.40	0.46	椭円形	P-47	0.18	0.18	0.13	
SK-05	1.34	0.83	0.37	椭円形	P-48	0.15	0.14	0.13	
SK-06	2.62	2.07	0.54	不定形	P-49	0.22	0.20	0.12	
SK-07	1.86	1.65	0.22	椭円形	P-50	0.21	0.21	0.25	
SK-08	4.10		0.50	椭円形	P-51	0.28	0.27	0.31	
P-01	0.25	0.25	0.17		P-52	0.22	0.21	0.36	
P-02	0.24	0.23	0.22		P-53	0.21	0.20	0.14	
P-03	0.24	0.22	0.24		P-54	0.26	0.26	0.22	
P-04	0.60	0.56	0.35		P-55	0.22	0.21	0.25	
P-05	0.26	0.26	0.12		P-56	0.18	0.17	0.21	
P-06	0.19	0.16	0.13		P-57	0.36	0.35	0.43	
P-07	0.25	0.23	0.25		P-58	0.23	0.18	0.27	
P-08	0.29	0.28	0.24		P-59	0.21	0.20	0.16	
P-09	0.33	0.31	0.30		P-60	0.15	0.14	0.11	
P-10	0.22	0.20	0.19		P-61	0.26	0.21	0.39	
P-11	0.22	0.20	0.11		P-62	0.46	0.43	0.07	
P-12	0.21	0.20	0.12		P-63	0.20	0.19	0.05	
P-13	0.24	0.21	0.13		P-64	0.25	0.24	0.16	
P-14	0.23	0.23	0.08		P-65	0.24	0.22	0.41	
P-15	0.24	0.24	0.27		P-66	0.36	0.29	0.46	
P-16	0.25	0.24	0.19		P-67	0.23	0.22	0.19	
P-17	0.23	0.23	0.21		P-68	0.18	0.17	0.25	
P-18	0.28	0.20	0.12		P-69	0.16	0.15	0.25	
P-19	0.26	0.25	0.07		P-70	0.26	0.23	0.22	
P-20	0.20	0.19	0.14		P-71	0.11	0.10	0.12	
P-21	0.16	0.15	0.19		P-72	0.40	0.36	0.04	
P-22	0.18	0.16	0.19		P-73	0.40	0.33	0.15	
P-23	0.24	0.18	0.25		P-74	0.23	0.22	0.12	
P-24	0.24	0.22	0.20		P-75	0.54	0.53	0.16	
P-25	0.21	0.20	0.15		P-76	0.32	0.31	0.18	
P-26	0.19	0.18	0.17		P-77	0.28	0.24	0.17	
P-27	0.21	0.18	0.14		P-78	0.30	0.27	0.20	
P-28	0.20	0.15	0.16		P-79	0.20	0.19	0.14	
P-29	0.23	0.22	0.34		P-80	0.35	0.30	0.20	
P-30	0.26	0.22	0.06		P-81	0.37	0.37	0.23	
P-31	0.21	0.21	0.08		P-82	0.37	0.36	0.21	
P-32	0.28	0.24	0.13		P-83	1.10	0.58	0.14	
P-33	0.25	0.24	0.20		P-84	0.27	0.22	0.20	
P-34	0.23	0.23	0.18		P-85	0.28	0.28	0.28	
P-35	0.23	0.22	0.13		P-86	0.36	0.34	0.19	
P-36	0.33	0.29	0.11		P-87	0.34	0.33	0.10	
P-37	0.36	0.34	0.21		P-88	0.25	0.24	0.27	
P-38	0.26	0.23	0.25		P-89	0.24	0.23	0.16	
P-39	0.55	0.42	0.53		P-90	0.26	0.25	0.18	
P-40	0.28	0.26	0.26		P-91	0.26	0.21	0.21	
P-41	0.24	0.23	0.24		P-92	0.40	0.28	0.15	
P-42	0.26	0.25	0.18		P-93	0.30	0.28	0.30	
P-43	0.52	0.40	0.11		P-94	0.28	0.28	0.28	

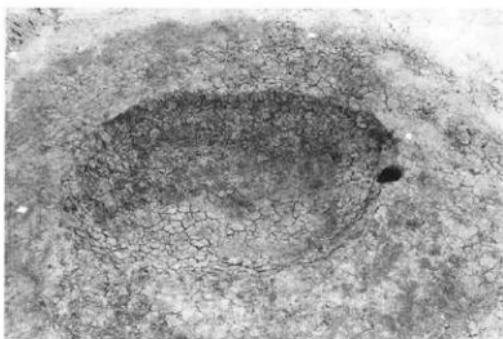
土壤・ピット観察表



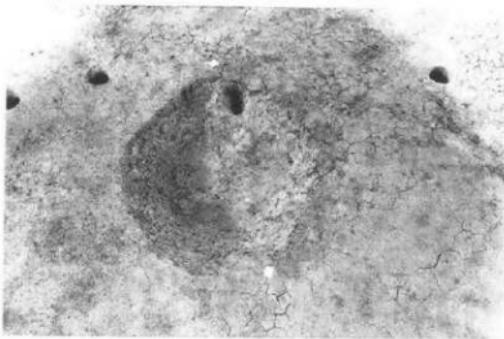
竖穴住居址（北から）



据立柱建物址（北から）



3号土壙（西から）



4号土壤（北から）



8号土壤（北から）



1号溝址（南から）



調査地遠景



調査風景



8号土壤遺物



1号溝址遺物



1号溝址遺物



1号溝址遺物



SD-06 青磁蓮弁文碗片 (表-上) (裏-下)



上田市文化財調査報告書第58集
大烟遺跡
遊技場建設に係る大烟遺跡発掘調査報告書

発 行 平成8年3月29日
上田市教育委員会
印 刷 有限会社竹内印刷所

